

歴史年表

元号	西暦	将軍・首相	出生&物故者 (没年齢)	出来事
寛政 元	1789	徳川家斉	G・オーム	棄捐令を発し、旗本御家人の負債を免ず。フランス革命。ワシントン米大統領に就任。
寛政 2	1790	徳川家斉	A・スミス(67)	朱子学を勧め、異学を禁ず。石川島人足寄場を設置。
寛政 3	1791	徳川家斉	島津斉興	江戸に町会所を建て七分積立金制を創設。
寛政 4	1792	徳川家斉	G・ロッシーニ	林子平、海国兵談の筆禍。第一次共和政(仏)。
寛政 5	1793	徳川家斉	渡辺華山	松平定信、老中職を辞職。
寛政 6	1794	徳川家斉	千葉周作	江戸大火。幕府、儉約令の期限を10年延長。
寛政 7	1795	徳川家斉	長谷川平蔵(49)	ロシア人、蝦夷地の船貨を奪う。円山応挙没。
寛政 8	1796	徳川家斉	F・シーボルト	英人プロトン、室蘭に寄港、翌年にかけて日本沿岸を測量。白蓮教徒の乱(清)。
寛政 9	1797	徳川家斉	F・シューベルト	寛政丁巳歴頒布。仙台藩領10郡に一揆。
寛政 10	1798	徳川家斉	中山みき	近藤重蔵等、擇択島に「大日本恵土呂布」の標柱建設。
寛政 11	1799	徳川家斉	H・バルザック	東蝦夷地を幕府の直轄領とす。高田屋嘉兵衛擇択航路開く。
寛政 12	1800	徳川家斉	徳川斉昭	伊能忠敬、蝦夷地測量。昌平坂学問所完成。女子の富士登山を許す。
享和 元	1801	徳川家斉	本居宣長(71)	富山元十郎等、ウルップ島に「天長地久大日本七属島」の標柱建設。アイルランドを合併(英)。
享和 2	1802	徳川家斉	V・ユーゴー	蝦夷奉行(のちに箱館奉行)を置く。
享和 3	1803	徳川家斉	J・ドブラー	米国船、長崎に来航、貿易を求め、幕府これを拒絶。
文化 元	1804	徳川家斉	T・ハリス	ロシア使節レザノフ、長崎に来航し貿易を要求。出羽大地震。ナポレオン皇帝となる。
文化 2	1805	徳川家斉	H・アンデルセン	レザノフ退去。二宮尊徳の農村復興の活動始まる。
文化 3	1806	徳川家斉	喜多川歌麿(53)	江戸芝の大火。外国船に薪水給与の令を発す。神聖ローマ帝国滅亡。
文化 4	1807	徳川家斉	D・シュトラウス	箱館奉行を廃し、松前奉行を置く。ロシア人、択捉の番所を襲う。
文化 5	1808	徳川家斉	ナポレオン3世	江戸湾沿岸に砲台修築起工。フェートン号事件。間宮林蔵、樺太を探検し間宮海峡を発見。
文化 6	1809	徳川家斉	島津斉彬	間宮林蔵、黒竜江地方を探検し、帰国。
文化 7	1810	徳川家斉	緒方洪庵	白河藩・会津藩に相模・房総の砲台を築かしむ。
文化 8	1811	徳川家斉	佐久間象山	ロシア艦長ゴローニンらをクナシリ沖で逮捕。幕府、庶民の入墨禁止。
文化 9	1812	徳川家斉	C・ディケンズ	高田屋嘉兵衛、クナシリ沖でロシア船に捕らえられる。米英戦争。ナポレオンのロシア遠征。
文化 10	1813	徳川家斉	G・ヴェルディ	ゴローニンらを釈放。ライプチヒの戦い。
文化 11	1814	徳川家斉	J・ミレー	箱館、松前以外の北地防備を撤兵。この夏諸国大旱魃。ウィーン会議。
文化 12	1815	徳川家斉	井伊直弼	江戸、畿内、東海道洪水。アヘンの禁止令(清)。神聖同盟なる。
文化 13	1816	徳川家斉	塩原太助(73)	江戸に疫病流行、死者多数。駿河一揆。
文化 14	1817	徳川家斉	島津久光	水野忠成、老中となる。畿内、九州イナゴの害。
文政 元	1818	徳川家斉	K・マルクス	英人ゴルドン、浦賀に来航、貿易要請、幕府拒否。日立一揆。
文政 2	1819	徳川家斉	J・ワット(83)	京都、美濃大地震。阿波・摂津一揆。
文政 3	1820	徳川家斉	ナイチンゲール	幕府、前薩摩藩主島津重豪の治績を賞す。
文政 4	1821	徳川家斉	ナポレオン(51)	東西蝦夷地を松前氏に還附し、松前奉行を廃す。ギリシア独立戦争。